

UCHIDA

# 電子チェックライタ

EG-500型



★いつでも取り出せますように、便利な所に保管しておいてください。

取扱説明書

このたびは、ウチダ電子チェックライタEG-500型  
をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。  
あなたの片腕として末長くご愛用いただく  
ために、必ず本取扱説明書をご覧ください。また、  
無用のトラブルを避けるため、『**1** 使用上の注意』  
には特にご注意ください。

---

# 目次

---

<b>1</b>	使用上の注意	1
<b>2</b>	各部の名称	4
<b>3</b>	各部の機能	5
	<b>1</b> スライドスイッチとキー操作	5
	<b>2</b> 表示管	7
	<b>3</b> 奥行調整ダイヤル	8
<b>4</b>	操作手順	9
	<b>1</b> 証書の発行	9
	<b>2</b> 発行金額・枚数の累計のとり方	13
	<b>3</b> 抹消印字とメモリーの訂正	13
	<b>4</b> 電卓としての使用	14
<b>5</b>	インクロールの交換方法 (インキローラーカセット)	17
<b>6</b>	トラブルとその処置	19
<b>7</b>	仕様	20

---

# 1 使用上の注意

★本機は、手形・小切手等、偽造防止のために、刻みのはいった金額の印字に用います。

- ①電源は、家庭・事務所用の 100V コンセントから、お取りください。  
※工場など、電圧変動が大きい所でのご使用は避けてください。

- ②紙以外のシートや証書用紙より厚い紙には印字しないでください。

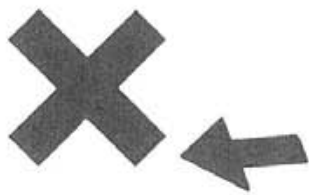
×ポリエチレン

ビニール×

×ボール紙

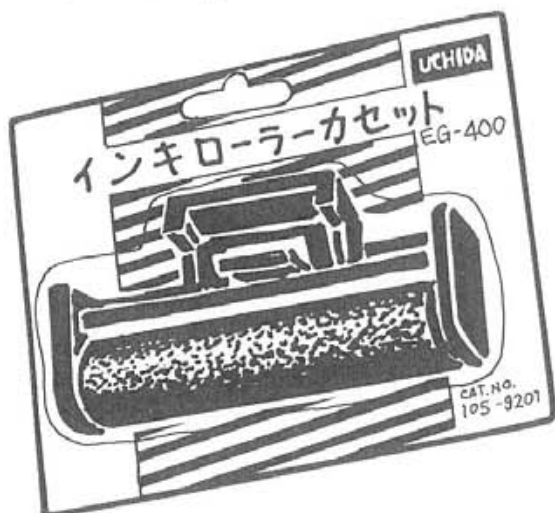
また、2枚以上の証書を挿入しないようご注意ください。

- ③印字途中、印字されている証書を引き抜かないでください。

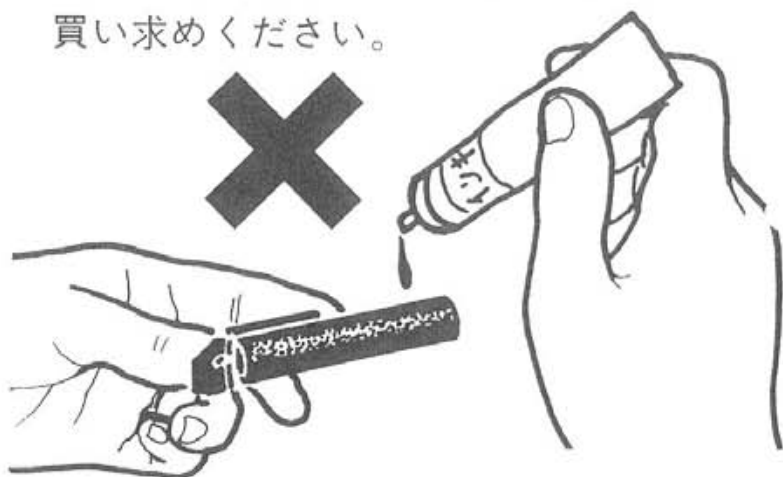


④印字途中でスイッチを切ったり、スイッチの「ON」、「OFF」を連続しないでください。

⑤インキロールはカートリッジ式ですので、印字がうすくなった場合は、新しいインキロールと交換してください。

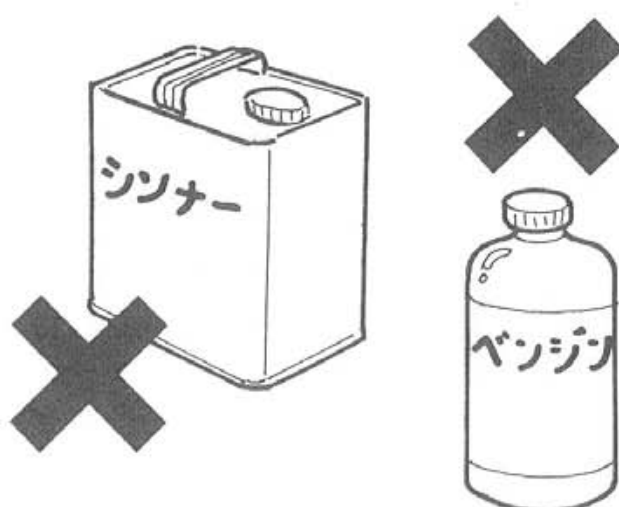


ウチダ電子チェックライタ専用インキローラーカセットEG-400をお買い求めください。



※他社の充填用インクやアルコール、油等は絶対に補給しないでください。

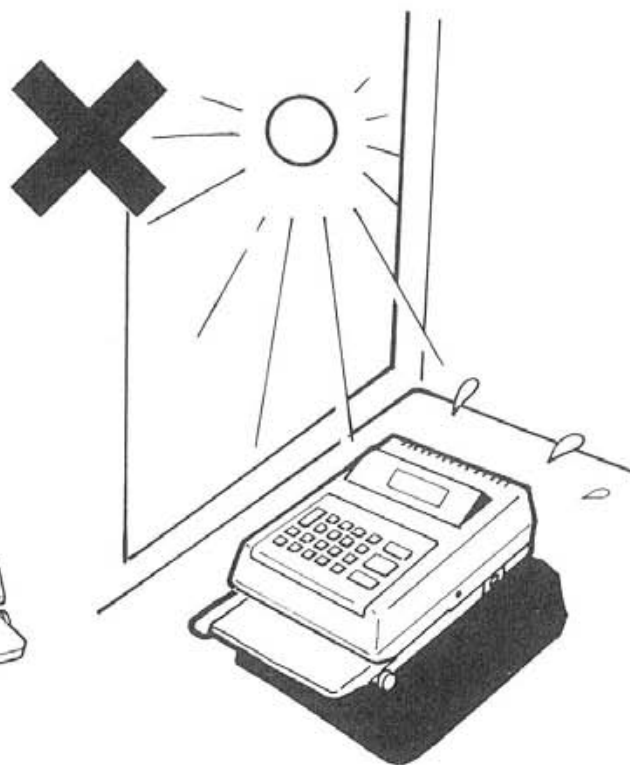
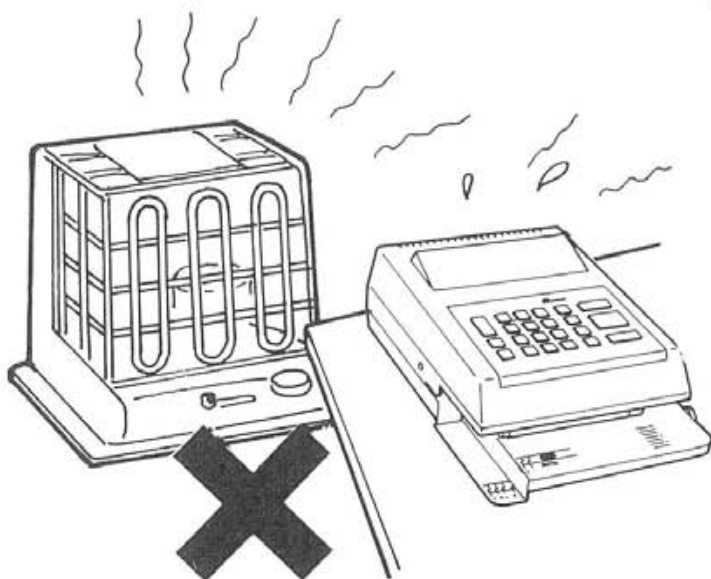
⑥本機の汚れを落とす際は、カラ拭き、あるいは、市販のプラスチック用クリーナー(チューブ入りのもの)をご使用ください。



水拭きや、シンナー、ベンジン等で拭くことは、おやめください。

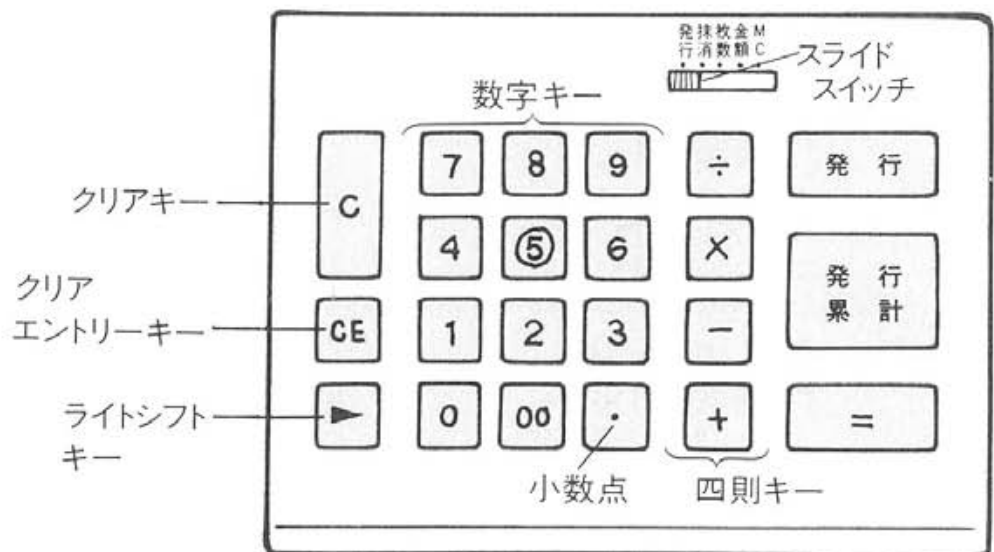
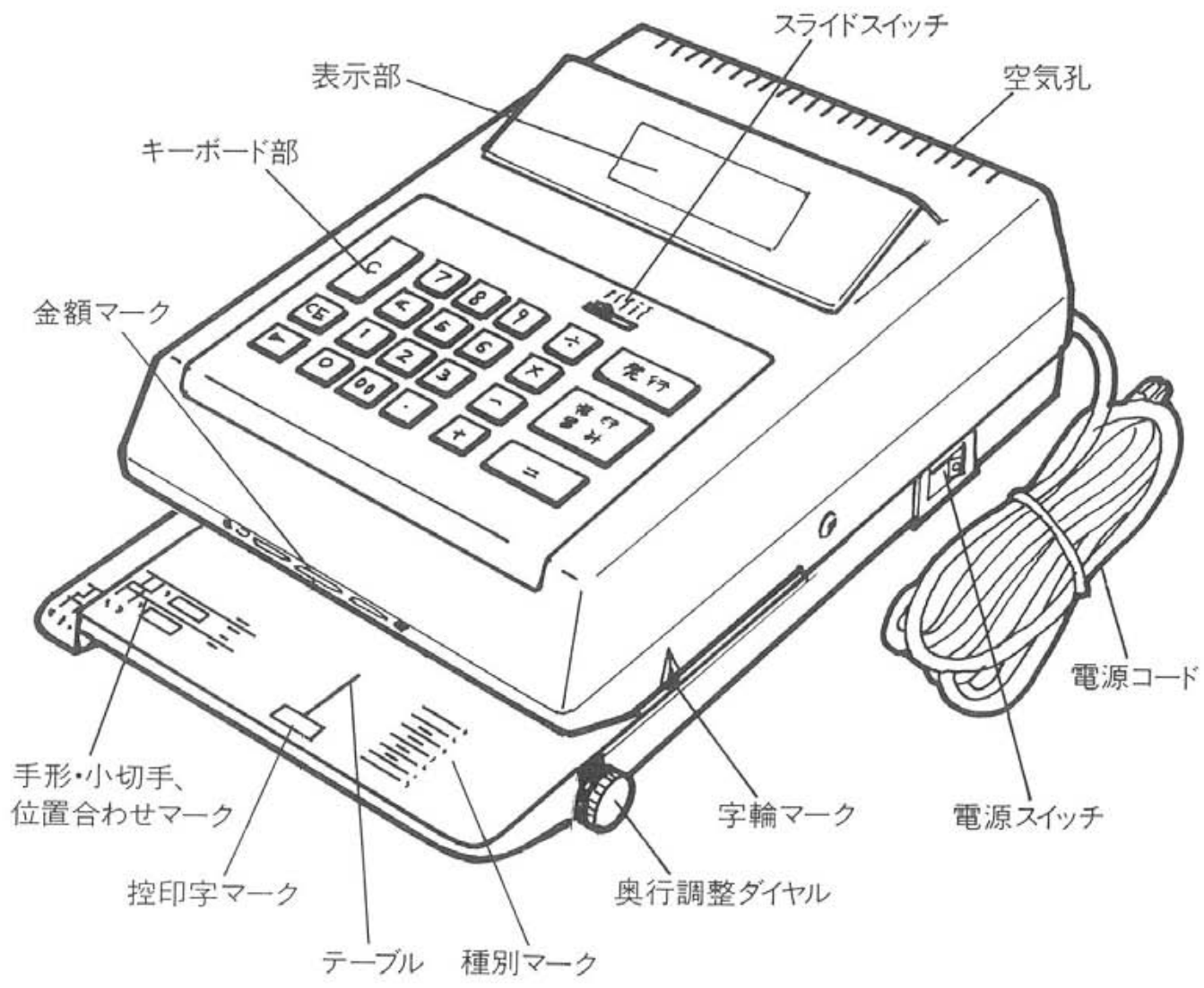
⑦精密機械ですので振動の多い所での使用は避けてください。

- ⑧保管する際は、ケースカバーをかけ、直射日光の当る場所や、暖房装置の付近は避けてください。






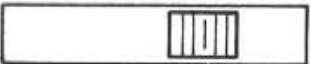
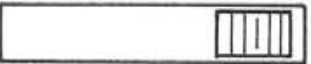
- ⑨本機は絶対に分解しないでください。

## 2 各部の名称



### 3 各部の機能

#### 1 スライドスイッチとキー操作

スライドスイッチの位置	操 作 キ ー
<p>発 抹 枚 金 M 行 消 数 額 C ● ● ● ● ●</p> 	<p>発 行 計 算 キー</p> <p>発 行 キー</p>
<p>発 抹 枚 金 M 行 消 数 額 C ● ● ● ● ●</p> 	<p>発 行 計 算 キー</p> <p>発 行 キー</p>
<p>発 抹 枚 金 M 行 消 数 額 C ● ● ● ● ●</p> 	<p>発 行 計 算 キー</p>
<p>発 抹 枚 金 M 行 消 数 額 C ● ● ● ● ●</p> 	<p>発 行 計 算 キー</p>
<p>発 抹 枚 金 M 行 消 数 額 C ● ● ● ● ●</p> 	<p>C キー</p>



---

---

## 機 能

---

蛍光表示管に表示されている金額を印字し、同時に、金額と枚数をメモリーに加算します。

---

表示されている金額を印字する。メモリーには加算されません。

---

¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ※ を印字し、同時に表示されている金額をメモリーから、減算し、枚数もメモリーから、-1 されます。

---

メモリーや表示にも関係なく、¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ※ を印字します。

---

メモリーに加算されている発行枚数の累計を蛍光表示管に表示します。

---

メモリーに加算された発行金額の累計を表示します。

---

メモリーの内容を金額枚数ともに消去します。

(  ) キー以外は受けつけません)

---

---

★表示の金額を印字できるのは、スライドスイッチが「発行」の位置にあるときだけです。その他の位置にあるときは、印字できません。

★表示が小数点を含む場合は印字できません。  
(例 123.45 → 印字できない)

★表示が「-」のときは、印字できません。  
(例 -560 → 印字できない)

★スライドスイッチが「MC」以外の位置にあるときは、いつでも計算が行なえます。

## 2 表示管

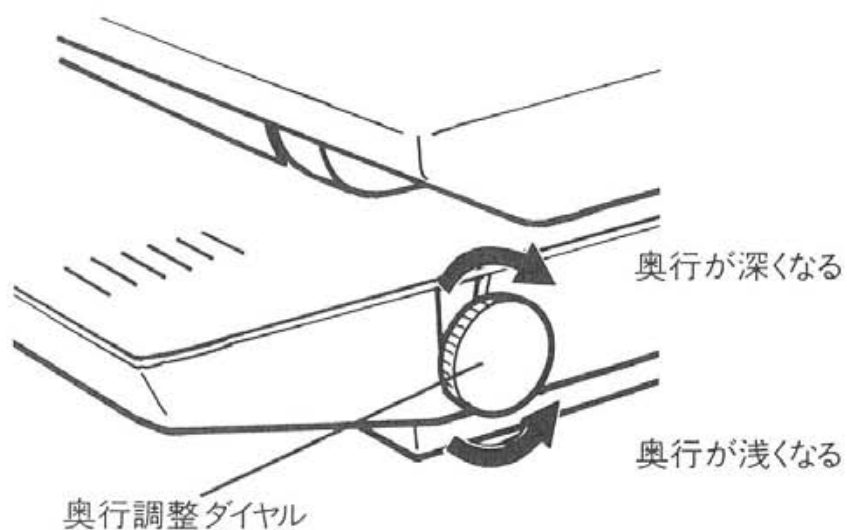
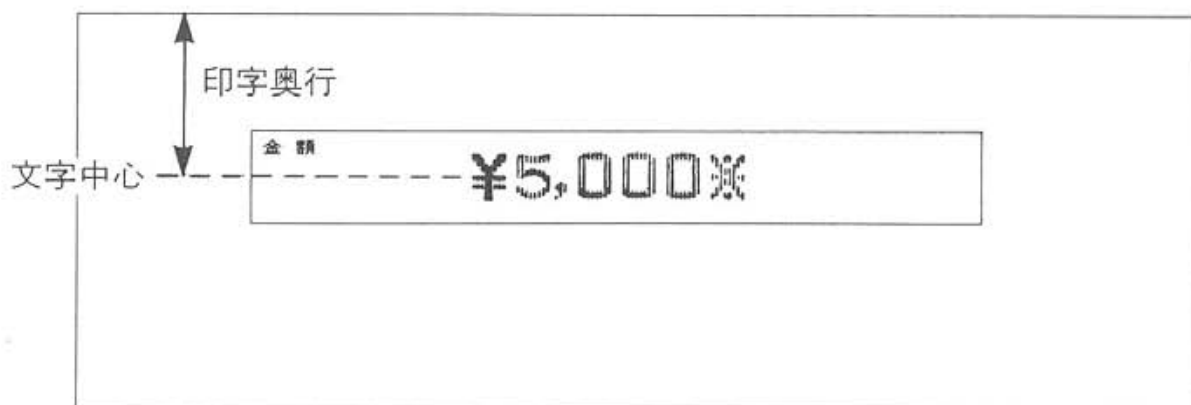


### 表示記号の説明

点 灯	意 味	内 容
	メモリー表示	発行金額・枚数がメモリーにはいったことを表わす。
	メモリーのオーバーフロー表示	累計金額が11桁におよんだ時に点灯し、オーバーフローを知らせる(P13 <b>お願い</b> 参照)
	エラー表示	演算結果がオーバーフローした時、又は0で割算をしたとき等の演算エラーを表示する。
	マイナス表示	表示データがマイナスになった時、点灯。

### 3 奥行調整ダイヤル

証書の種類によって印字奥行を変えるときに用います。



奥行調整ダイヤルによって、本体内部のペーパーガイドが前後します。

ペーパーガイドに用紙をあてて印字できるのは、印字奥行29mm～80mmのあいだです。

## 4 操作手順

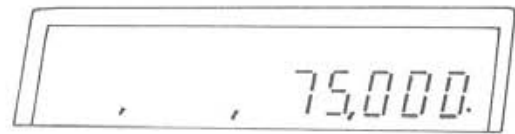
### 1 証書の発行

まず電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にします。

### 【手形の発行】

例：7万5千円と印字させる。

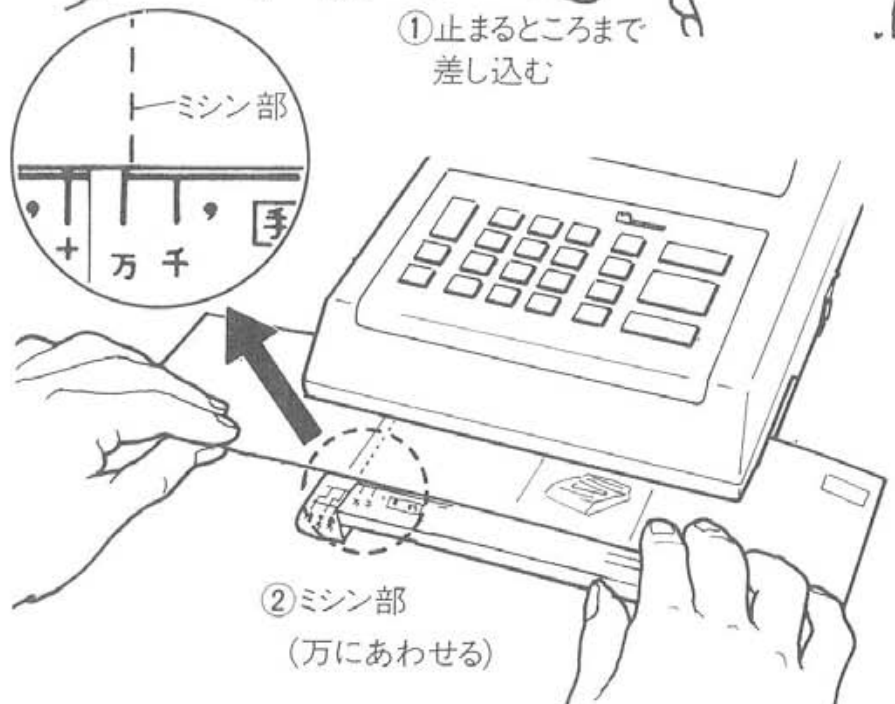
- ① 数字キーを **75000** と押すと、  
表示部に75,000と表示されます。



- ② 印字奥行の調整は、手形用紙の表側を上にしてテーブルの上へのせ、止まるまで差し込みます。次に奥行調整ダイヤルを回して図のようにテーブルに印刷されている位置合わせマークの **手形** の位置に手形用紙の下端がくるように調整します。



- ③ 印字左右位置の調整は、手形用紙を左右に動かし、ミシン部（切り取り線）をテーブルに印刷されている金額マークの万の位置に合せます。



- ④ **発行累計** あるいは **発行** キーを押します。  
(印字完了)



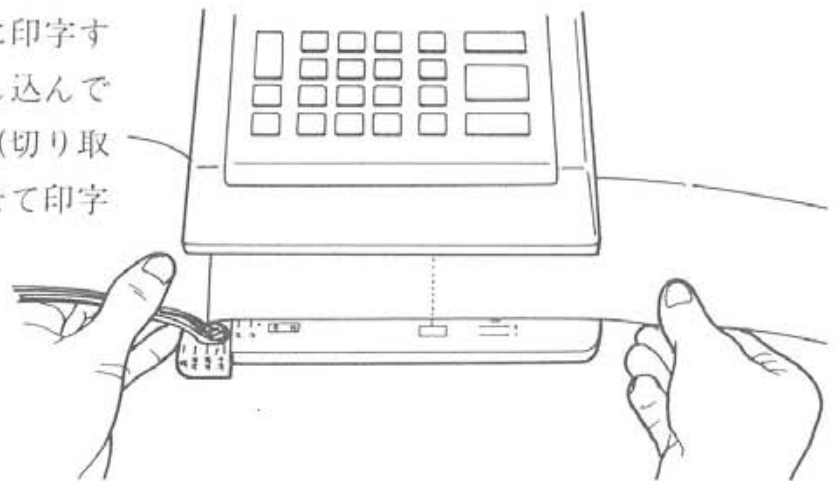
印字見本



※75,000円の手形がもう一枚必要な場合には、再度新しい手形を入れ、そのまま **発行累計** あるいは **発行** キーを押してください。  
(リピート印字)

※控にも印字したい場合は、累計メモリーに金額が入らないよう **発行** キーを使用して下さい。

- ⑤ 縦じこみ冊子のまま、手形の控に印字するときには、図のように手形を差し込んで軽く引っ張り、手形のミシン部（切り取り線）を控え印字マークに合わせて印字させて下さい。



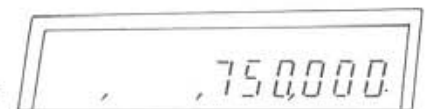
- ⑥ 数字の入力途中の訂正には **CE** キーをご使用下さい。また「0」を多く入力した場合など **▶** キーを使って訂正できます。

下一桁が消えて右にシフトしていきます。

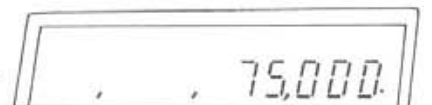
※一度、印字をさせて、次に別の金額を入力するときは、そのまま、数字キーで入力して下さい。 **C** キーを押す必要はありません。



**▶** を押す。

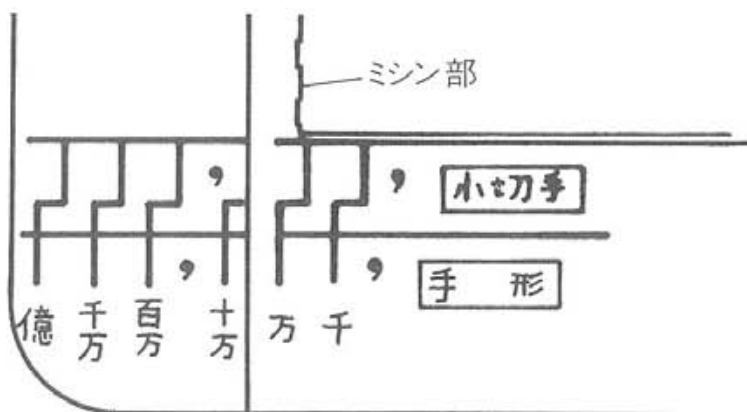


**▶** を押す。

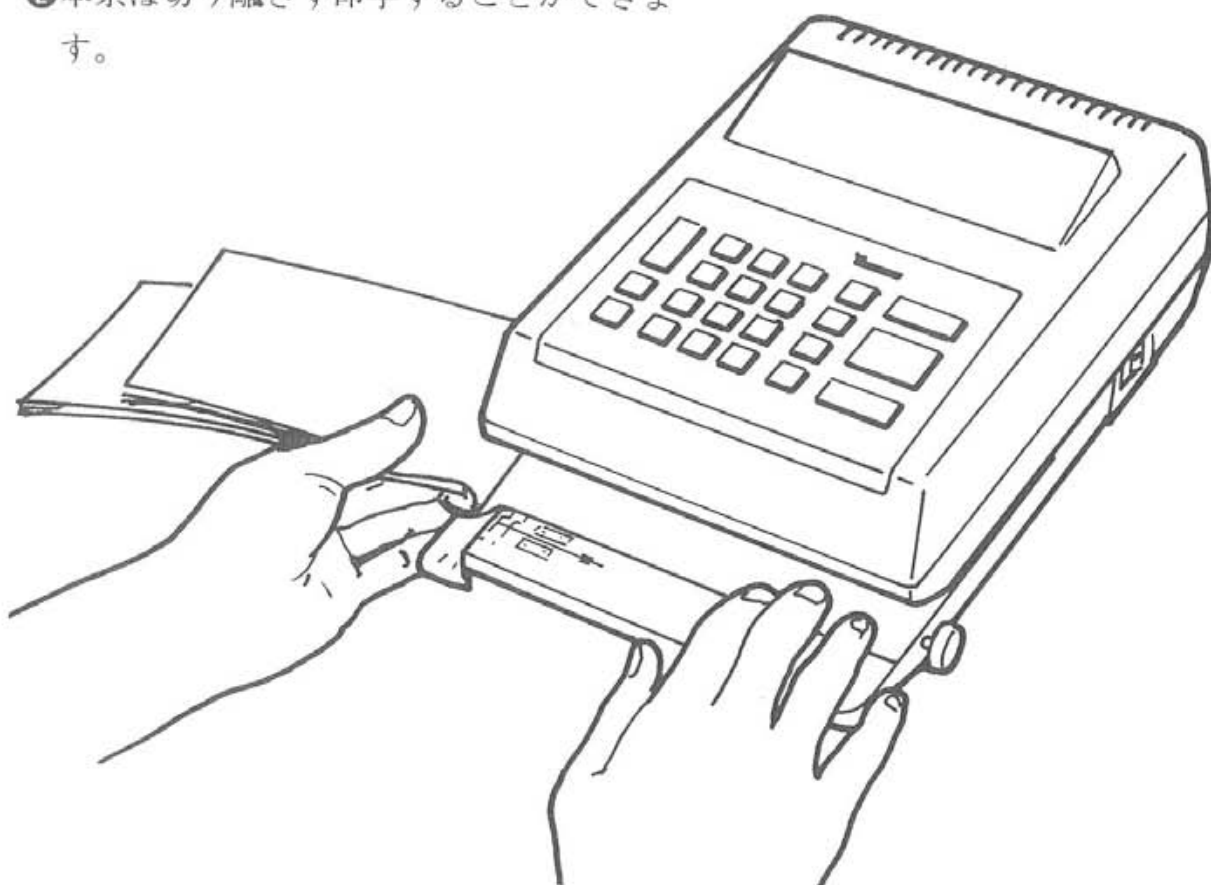


## 【小切手の発行】

- ①印字奥行は手形の場合と同じ位置で使用  
できます。左右位置は小切手用の金額マ  
ークにより、マシン部を位に合わせて下  
さい。

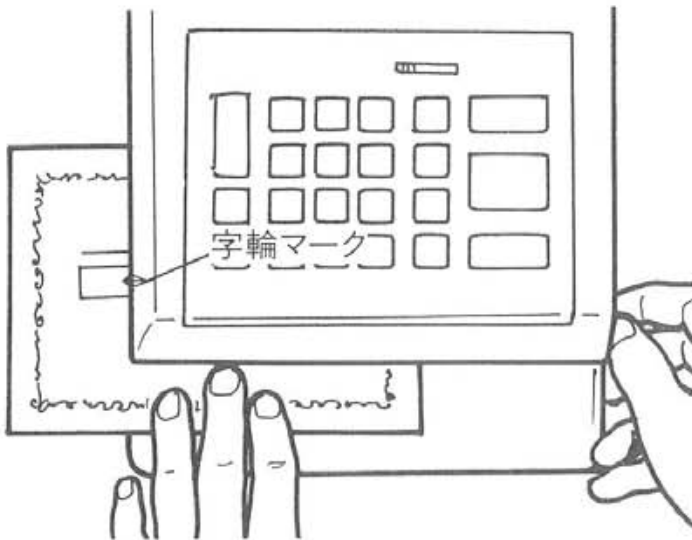


- ②本票は切り離さず印字することができます。



## 【その他、領収証等への印字】

- ①用紙を差込み、つきあたってところで、奥行調整ダイヤルと、字輪マークを使って、印字奥行を決めます。



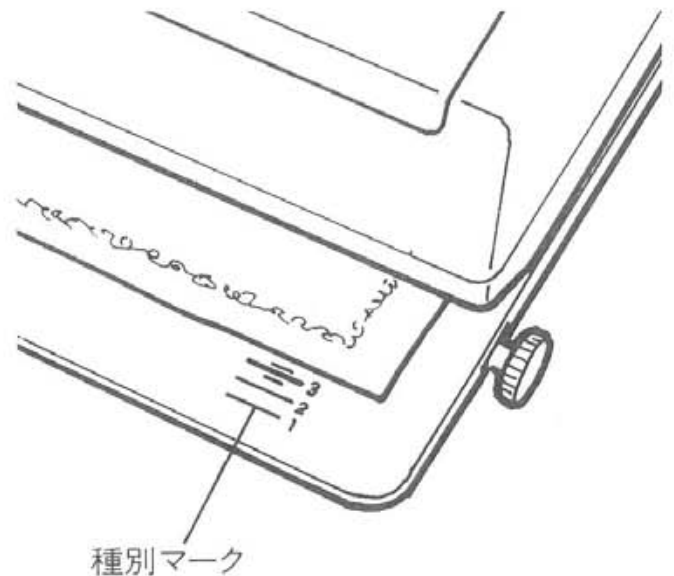
- ③そのまま奥へつきあたるところまで用紙を差込み **発行累計** あるいは **発行** キーを押します。



- ②次に金額マークを目安にして、左右印字位置を決めます。



- ④種別マークは、各用紙の奥行を覚えておくのにご利用ください。



## 2 発行金額・枚数の累計のとり方

- ① 金額を印字させるのに、**発行累計** キーを使用すると、金額がメモリーに加算され、枚数をカウントします。



メモリーにはいる。



メモリーには入らない

(手形の控に印字させるときなどに使用)

- ② 累計結果を表示させるには、スライドスイッチを切り換えて、**発行累計** キーを呼び出しボタンとして用います。

( P5 スライドスイッチとキー操作の項参照。 )

### お願い

メモリーがオーバーフローしたときは表示 (M点灯) されます。このとき、累計結果を呼び出しますと、11桁目は表示されませんが **▶** キーで11桁目のデータを出すことができます。

控をとり、メモリーをクリアして使用してください。

## 3 抹消印字とメモリーの訂正

スライドスイッチを「抹消」に持っていき **発行累計** あるいは **発行** を押すと、一度印字した金額をつぶすことができます。

¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥

その際、金額の表示と **発行累計** キーを用いることによって累計メモリーの訂正(減算)ができます。

( P5 スライドスイッチとキー操作の項参照。 )



## 4 電卓としての使用

### ① 通常計算

入力順に行います。

(例)  $(123 + 456) \times 789$   
の場合

キー操作	表示
1 2 3	123.
+	123.
4 5 6	456.
×	579.
7 8 9	789.
=	456,831.

② 定数計算、及びリピート計算は、  
できません。

### ③ 特殊な使い方

- 同じ数を使う計算の場合は、キー入力を省略できます。

(例)  $123 + 123$ の場合

☆ **+** キーを押した時に、123  
が読み込まれ同時に123  
が置数されます。

キー操作	表示
1 2 3	123.
+	123.
=	246.

- **▶** キーを使った計算

(例)  $\underline{12,340}$   
 $+ \underline{1,234}$ の場合

キー操作	表示
1 2 3 4 0	<u>12,340.</u>
+	<u>12,340.</u>
▶	<u>1,234.</u>
=	13,574.

(例)  $\underline{123,456}$   
 $+ \underline{1,234,578}$   
 の場合

キー操作	表示
<b>1</b> <b>2</b> <b>3</b> <b>4</b> <b>5</b> <b>6</b>	123,456.
<b>+</b>	123,456.
<b>▶</b>	12,345.
<b>7</b> <b>8</b>	1,234,578.
<b>=</b>	1,358,034.

④四則計算キーが続けて押された時は、最終四則キーが有効で次の様に計算されます。

(例)  $5 \times + 3 = \dots 5 + 3$  を計算。

キー操作	表示
<b>5</b>	5.
<b>×</b>	5.
<b>+</b>	5.
<b>3</b>	3.
<b>=</b>	8.

➡ **×** が無効になります。

- ⑤ **CE** キーは、表示されている数字のみをクリアします。  
 (四則計算キーのクリアはできない)

(例) 50 **CE** ..... 0  
 50× **CE** ..... 50 (50×が入力されている)

- ⑥ 計算結果がオーバーフローした時は、自動的に下桁をカットします(上位から10桁のみ表示)。そのときポイントの表示位置によってカットした桁数を示します。

(例) 12,345,600×10,000=123,456,000,000(12桁)

キー操作	表示
<b>12345600</b>	12,345,600.
<b>×</b>	12,345,600.
<b>10000</b>	10,000.
<b>=</b>	←1 2.34 560 000 →下2桁がカットされている。

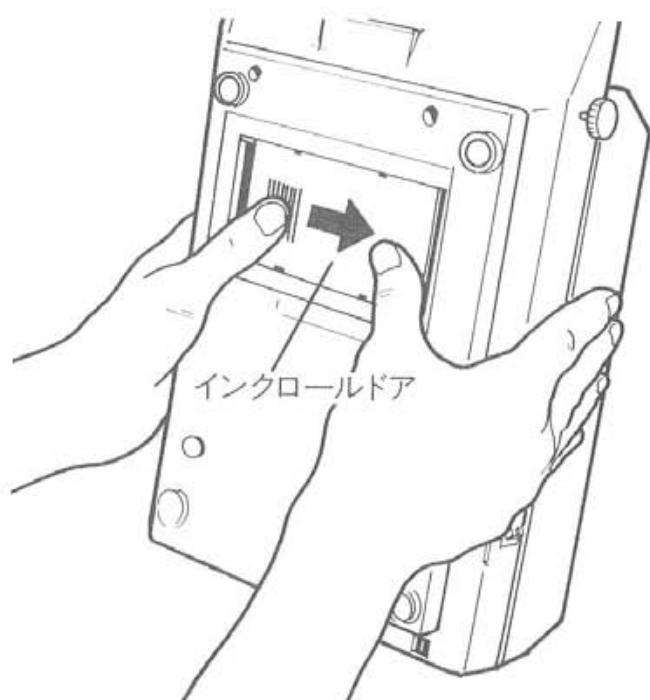
※計算結果が11桁以上でオーバーフロー表示している時は **C** キー以外は受け付けません。

- ⑦ 小数は、整数部と合わせ有効数字10桁まで表示します。

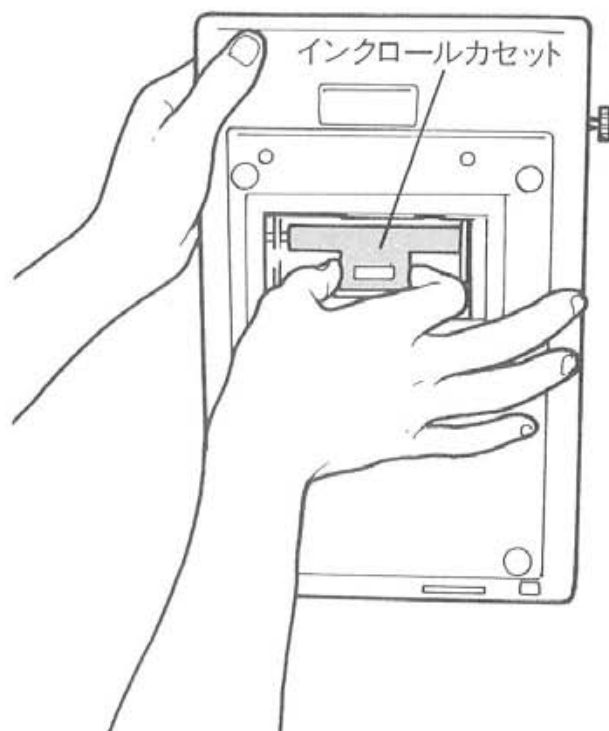
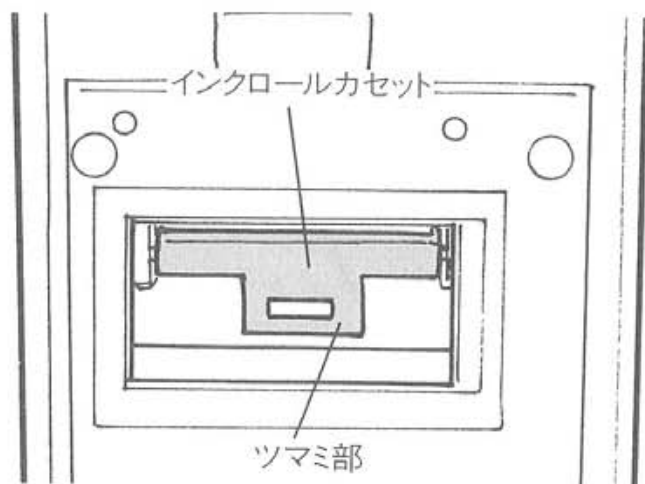
## 5 インクロールの交換方法 (インキローラーカセット)

本機使用中、印字がうすくなった場合には、下記の要領でインクロールの交換を行ってください。

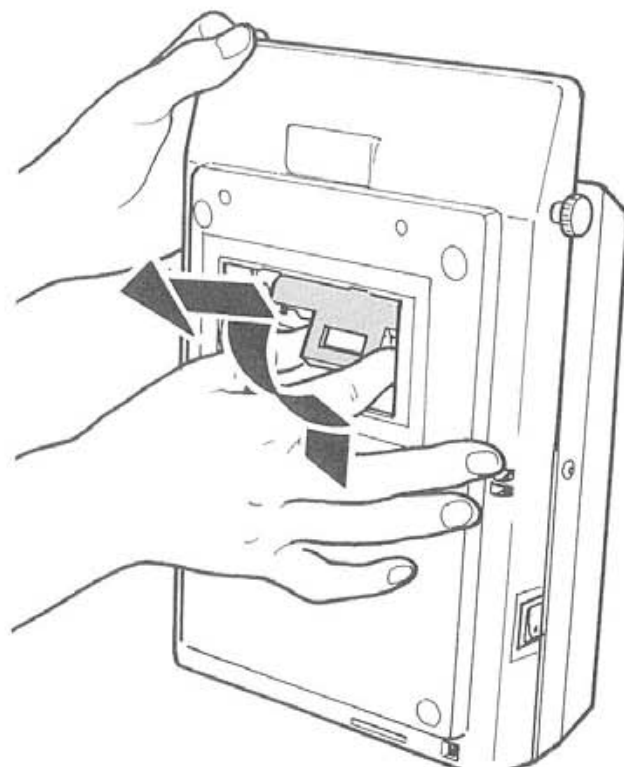
- ① 本機をたて、図のように、インクロールドアをはずします。



- ② インクロールカセットのつまみ部を持ち、手前へ引きます。

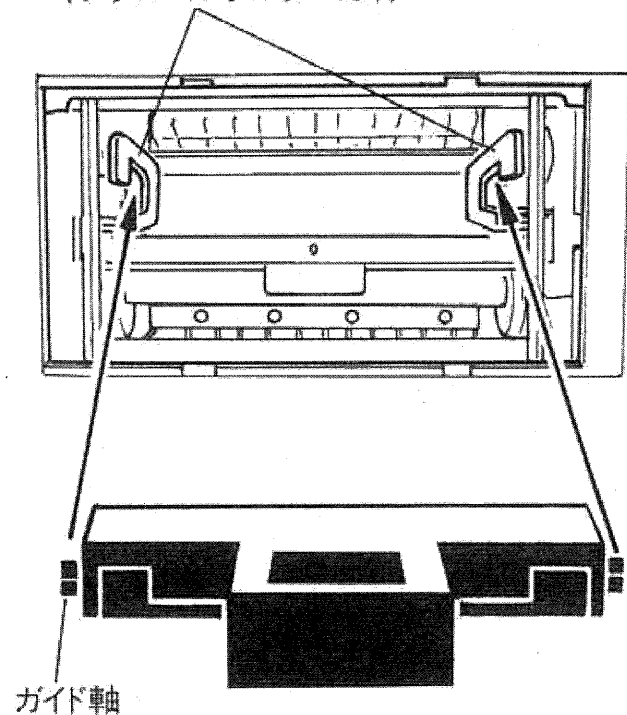


- ③ インクロールを上を持ち上げ手前に引くと取りはずせます。

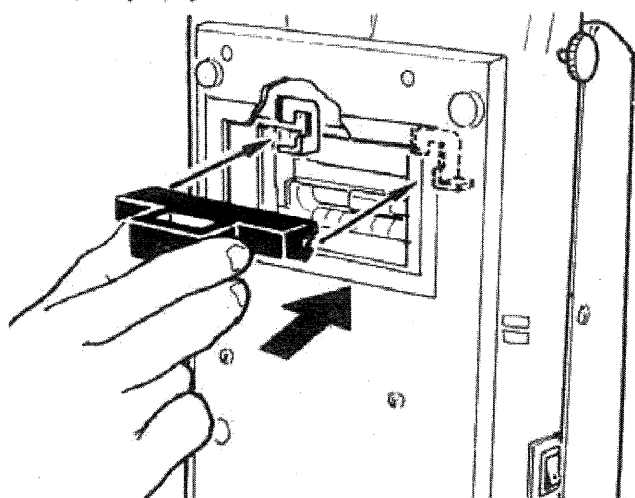


- ④新しいインクロール（インキローラーカセットEG-500）をプリスターパックより取り出し、インクロールホルダーガイドに差し込みます。

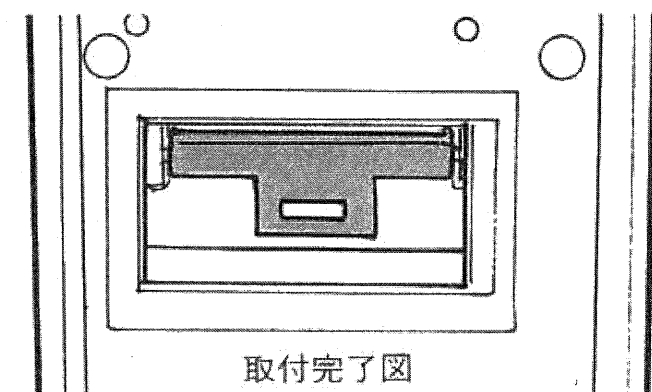
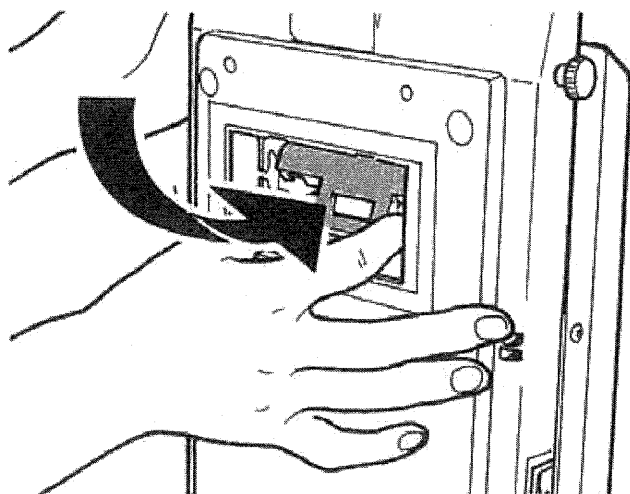
インクロールホルダーガイド



- ⑤図のように、インクロールの両端のガイド軸を本体ホルダーガイドに平行に差し込みます。



- ⑥インクロールが平行に止まったところでツマミを図のように押します。カチッと音がしてセット完了です。



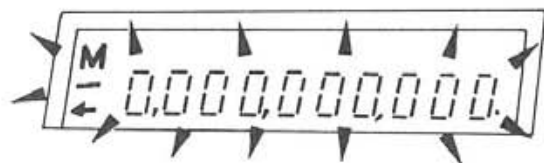
**お願い**

インクロールは別売になっておりますので、本機お買求めの販売店でウチダ電子チェックライタEG-500型用「インキローラーカセット」とご指定の上、お買求めください。

## 6 本機のトラブルとその処置

印字中トラブルが発生した場合には、機械がロックされ動かなくなります。この場合、表示は9桁全部に“0”が表示され、“0”が点滅します。

その場合には、電源スイッチを“OFF”にして、再び“ON”にしてください。(軽度のトラブルの場合には、これでトラブルが直り、再びご使用になれます。)



### お願い

スイッチを“ON”、“OFF”しても“0”が点滅する場合には、電源コードを抜き、最寄のウチダサービス・ステーションまでご連絡下さい。

## 7 仕様

名 称	ウチダ電子チェックライタ EG-500型
製品記号	EG-500型
入力桁数	最大9桁(蛍光表示管)
印字桁数	最大11桁(シンボル¥・※, 金額9桁)
印字スピード	1.8秒
印字方式	刻み込み字輪
インキング	インクロール方式(カートリッジ交換)
印字奥行	最大80mm(用紙上端より文字中心まで)
補助機能	四則演算機能、発行金額・枚数の累計機能
外形寸法	(巾)216mm×(奥行)313mm×(高さ)126mm
重 量	4.6kg
消費電力	常時7W、印字時14W
電 源	AC100V、50/60Hz
使用温湿度	温度0°~40° C、湿度80%以内
付 属 品	ケースカバー、インクロール(本体セット済)